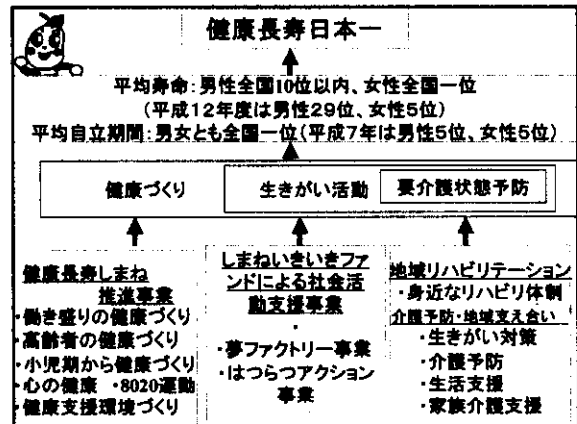


## 2. 正林委員プレゼンテーション資料

## 島根県における リハビリテーション — 介護予防と地域リハ —

島根県健康福祉部  
次長 正林 督章



## 健康長寿しまねの推進

- ・ 目標設定評価型健康づくり事業の実施
- ・ 県、圏域、市町村の各レベルで計画を策定
- ・ 職域、学校、関係団体、住民組織等が連携し、県民運動として健康づくりを展開
- ・ 事業の具体例
  - ・ 外食栄養成分表示事業
  - ・ 禁煙キャンペーン
  - ・ 健康フェアの開催
  - ・ 8020運動
  - ・ 事業所における健康教室 など

## しまねいきいきファンドによる 社会活動支援事業 (しまね生涯現役チャレンジ事業)

### 事業例

- ・ 夢ファクトリー事業
  - ・ 高齢者の知識・経験を生かした就労の場づくり
- ・ はたはたアクション事業
  - ・ 地域での社会活動を促進するため、50歳以上のグループが自ら企画し、実施する活動 (地域福祉活動、生活環境改善活動、地域文化活動、世代間交流活動、生涯学習活動等)

## 島根における介護予防

- 高齢者丸ごと生活サポート事業 (介護予防・地域支え合い事業)
  - 趣旨: 日常生活支援、生きがい活動支援、要介護状態になることを予防、家族介護者支援
  - 事業主体: 市町村
  - 実施事業: 事業メニューの中から市町村が選択
  - 補助率: 国1/2、県1/4

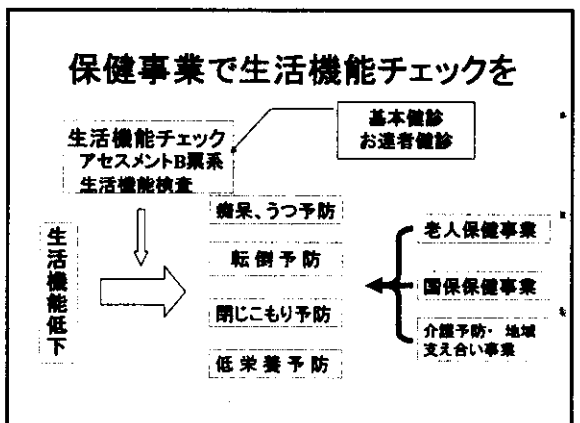
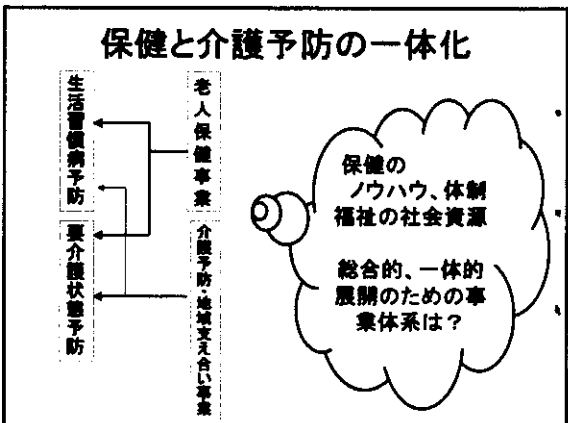
## 高齢者丸ごと安心生活サポート 事業のメニュー例

- 1) 高齢者の地域活動の振興及びその広報
- 2) 転倒予防教室、痴呆予防、IADL訓練、地域住民グループ支援、高齢者食生活改善、生活習慣改善
- 3) 高齢者に対する生きがい活動型デイサービス
- 4) 基本的な生活習慣習得のため、指導員派遣



### 介護予防を行う上での課題

- ・ 老人保健事業と介護予防事業との連携・調整
- ・ 生活機能に着目した老人保健事業



## 大田市における介護予防活動例

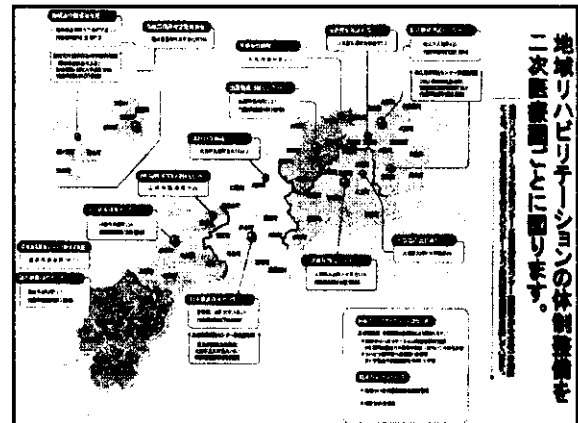
- 基本健康診査時にヘルスチェックリストの配布(70歳以上対象)
- 健康管理、関心と意欲、活動内容、社会参加に関する計20個の質問への回答から総合点を算出し、閉じこもり度(生活機能)をチェック
- 保健サイドと福祉サイドが相互連携のために共通のチェックシートを使用

## 市町村別健康寿命 (平均自立期間)の測定

- 島根県保健環境科学研究所において、介護保険データを活用し、要介護度1までで自立した状態(健康)と定義し、市町村別に65歳以上の平均自立期間を算定
- 市町村格差の要因分析、各種介護予防事業の評価などに活用
- 結果の公表により、各市町村における平均自立期間の延伸に向けたインセンティブ

## 島根県における 地域リハビリテーション

- 事業の概要
- 1) 可能な限り身近な場所でリハビリテーションが受けられるよう、二次医療圏ごとに急性期、回復期、維持期等の各段階に応じた体系的な体制の整備
- 2) リハビリテーション指針(県及び圏域別)の策定
- 3) 各圏域ごとに地域リハビリテーション支援センターを整備し、健康福祉センターと連携して事業展開
- 4) 健康福祉センターにおいて、地域リハ専門部会の設置、指針・行動計画策定、住民に対する啓発
- 5) 地域リハビリテーション支援センターにおいて、リハ従事者に対する研修



## 島根県における 地域リハビリテーション

- 推進方策の柱
- 1) 医療提供体制整備
- 2) 介護保険サービス提供体制整備
- 3) 要介護状態の予防推進
- 4) 地域リハビリ推進体制整備
- 5) 人材の確保、育成
- 6) 普及・啓発

## 健康福祉センターの活動



### 地域リハ支援センターの活動

- ・ 支援センター内での施設内研修
- ・ 圏域内リハ関係職員に対する集団研修 (FIMの採点法など)
- ・ 圏域内リハ関係職員に対する個別研修 (デモンストレーション)
- ・ リハ専門職員に対する卒後研修
- ・ 地域の老人保健福祉施設へ職員派遣による現任研修
- ・ 専門相談事業

### 福祉施設における現任訓練



### 福祉施設における現任訓練



### 福祉施設における現任訓練



### 地域リハビリ支援センター実績

支援内容	H13年度	H14年度	H15年度 (予定)
専門相談 (件数)	67	49	—
地域支援 (回数)	114	145	168
啓発事業 (回数)	61	64	82

### リハビリ専門職人材確保対策

項目	緊急人材確保	卒後研修支援
実施期間	H14-18年度	H14-16年度
対象施設	常勤職採用施設 ・地域支援実施施設 ・専門職配置基準の ない保健福祉施設	研修受け入れ施設 として適切な機能を 有する医療機関
助成額及 び期間	1年目 1,200千円 2年目 800千円 3年目 400千円	1施設1,000千円 当該年度1年間

### 人材確保対策の実績

事業名	H14年度	H15年度予定
緊急人材確保	20人	27人
卒後研修支援	5人	9人

【参考】：島根県内リハビリ専門職数

職種	H11年12月	H15年6月
PT	141人	232人
OT	87人	177人
ST	14人	47人

### 地域リハの今後の課題

- ・ 地域の老人保健福祉施設におけるリハ専門職員の確保及び養成(卒後研修等)
- ・ 地域の老人保健福祉施設における職員やケアマネに対する「生活機能向上のためのリハ」に関する知識の普及及びその技術の向上
- ・ 地域リハビリテーション支援センターに対する評価

### まとめ

- ・ 介護サービスは量の確保とともに質の確保の時代に入
- ・ 質の確保のためには質を評価するしくみが必要(ハードやスタッフ数のみによる評価では不十分)
- ・ 現状は介護度が悪化するほど介護報酬が上がる体系
- ・ 介護度を改善するためのインセンティブを働かすしくみが必要